

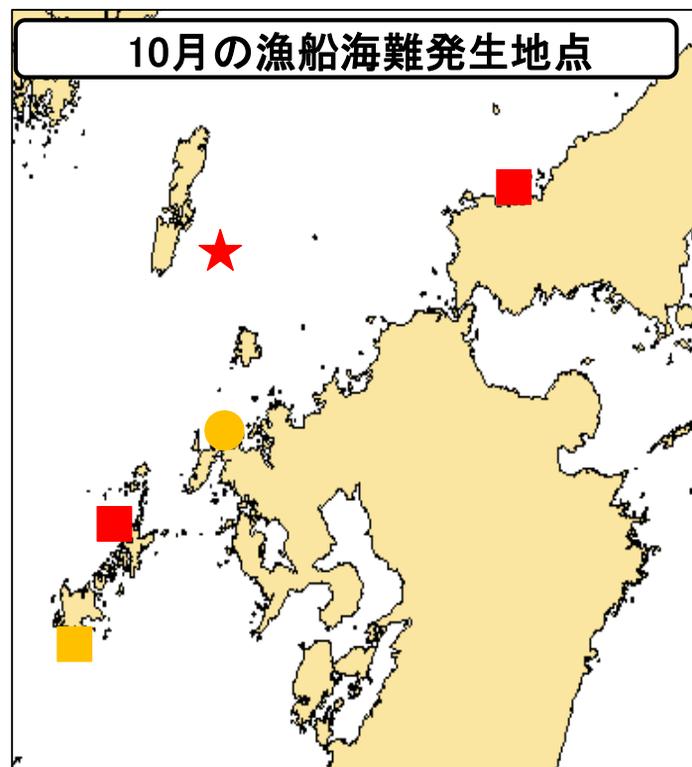
令和2年10月
七管内漁船海難 計5隻

令和2年10月累計80隻(前年92隻)

漁船海難発生累計件数は前年に比べ**12隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	1
乗揚げ	●	1
運航不能 (機関故障)	■	2
運航不能 (推進機障害)	■	1
合計 5 隻 (前年 12 隻) 死亡、行方不明者: 0件		

	県別内訳	
	10月	令和2年累計
山口県	1	11 (7)
福岡県	0	14 (19)
佐賀県	0	3 (9)
長崎県	4	38 (44)
大分県	0	14 (13)
合計	5隻	80隻 (92隻) ()は昨年同月



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

令和2年11月1日現在、累計死亡・行方不明者数: 12名

<事件事例(運航不能から沈没へ発展)>

漁船A丸は、航行中に冷却水の配管が詰まり、エンジンがオーバーヒートを起こしました。その後、オーバーヒートに伴う高熱で配管が変形し脱落、配管取付部からの浸水により、漁船A丸は沈没しました。



【定期的なエンジンや配管等の整備点検を!!】

安全祈願

衝突多し

安全大海をキキョ

安全大漁!!

冬季にかけて 気を引き締めて 海難多発!! 海難ゼロを目指そう!!